



2023年3月期 決算短信(日本基準)(非連結)

2023年4月27日

上場会社名 エイトレッド

上場取引所 東

コード番号 3969 URL <https://www.atled.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡本 康広

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 新 祐介

TEL 03 - 3486 - 6312

定時株主総会開催予定日 2023年6月15日

配当支払開始予定日

2023年6月1日

有価証券報告書提出予定日 2023年6月15日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期の業績(2022年4月1日～2023年3月31日)

(1) 経営成績

(％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	2,167	2.5	999	10.1	999	10.0	670	10.9
2022年3月期	2,113	9.8	907	15.9	908	14.9	604	12.8

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	89.55	89.53	17.7	20.8	46.1
2022年3月期	80.83	80.72	18.3	21.0	42.9

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 百万円 2022年3月期 百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	5,026	4,059	80.1	537.79
2022年3月期	4,590	3,542	76.8	471.66

(参考) 自己資本 2023年3月期 4,026百万円 2022年3月期 3,527百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	829	356	171	4,069
2022年3月期	985	218	155	3,766

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2022年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期		11.00		11.00	22.00	164	27.2	5.0
2023年3月期		12.00		12.00	24.00	172	26.8	4.8
2024年3月期(予想)		13.00		13.00	26.00		26.0	

3. 2024年3月期の業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,122	6.2	483	3.4	483	3.3	329	5.7	43.94
通期	2,390	10.3	1,100	10.1	1,100	10.0	748	11.6	99.90

注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
以外の会計方針の変更	: 無
会計上の見積りの変更	: 無
修正再表示	: 無

(2) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期	7,487,400 株	2022年3月期	7,478,400 株
期末自己株式数	2023年3月期	185 株	2022年3月期	138 株
期中平均株式数	2023年3月期	7,485,177 株	2022年3月期	7,476,674 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.4の「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 当期の経営成績の概況	P. 2
(2) 当期の財政状態の概況	P. 2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	P. 3
(4) 今後の見通し	P. 4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	P. 4
3. 財務諸表及び主な注記	P. 5
(1) 貸借対照表	P. 5
(2) 損益計算書	P. 7
(3) 株主資本等変動計算書	P. 9
(4) キャッシュ・フロー計算書	P. 10
(5) 財務諸表に関する注記事項	P. 11
(継続企業の前提に関する注記)	P. 11
(持分法損益等)	P. 11
(セグメント情報)	P. 11
(1株当たり情報)	P. 11
(重要な後発事象)	P. 11

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国の経済は、ウィズコロナの下で各種政策の効果等により景気の持ち直しが期待されるものの、地政学的リスクの高まりや物価の高騰、世界的な金融引締め等を背景とした海外景気の下振れ等の懸念により、先行きは依然として不透明な状況が継続しております。

当社が属するIT業界は、政府によるペーパーレス化や脱ハンコ等のデジタルトランスフォーメーション(DX)の推進や新型コロナウイルス感染の世界的な広がりを背景として、テレワークや在宅勤務等への働き方の変化により、当社が展開するワークフロークラウドサービスの利用拡大が顕著となっていることや、ワークフローソフトウェアについても需要が拡大し堅調に推移いたしました。

このような状況の中で、当社はワークフローソフトウェアメーカーとして、当社初のメタバースでのWebセミナーの開催、全国主要都市でのパートナー企業との共同セミナーの開催及び市場優位性を確保するためのワークフローソフトウェアの機能強化、並びに急速に拡大するクラウドサービス市場のシェア獲得に向けたクラウドビジネスの拡大に注力してまいりました。

これらの結果、当事業年度の売上高は21億67百万円(前期比2.5%増)、営業利益は9億99百万円(同10.1%増)、経常利益は9億99百万円(同10.0%増)、当期純利益は6億70百万円(同10.9%増)となりました。なお、当社の事業はワークフロー事業の単一セグメントのため、製品・サービス別の業績の概要を記載しております。

(パッケージソフト)

X-p o i n tは、新規ライセンス販売の終了に伴い売上高が減少いたしました。A g i l e W o r k sは、主に半導体不足の影響により顧客への導入が大幅に遅れたことにより新規導入企業数が減少し売上高が減少いたしました。その結果、当事業年度のX-p o i n t売上高は3億26百万円(同15.9%減)、A g i l e W o r k s売上高は9億69百万円(同1.7%減)となり、パッケージソフト全体の売上高は、12億95百万円(同5.7%減)となりました。

(クラウドサービス)

クラウドサービスは、クラウドサービス市場の成長及び新型コロナウイルスの感染拡大に伴うワークフロー需要の拡大を背景として、Webを活用したセミナー、無料トライアルの実施等により、新規導入企業数が順調に推移しました。また、パッケージソフトのX-p o i n tからのシフトも徐々に増加いたしました。その結果、当事業年度のクラウドサービス売上高は、8億71百万円(同17.8%増)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べ3億30百万円増加し、43億82百万円となりました。これは、主に現金及び預金が3億2百万円、売掛金が30百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ1億5百万円増加し、6億43百万円となりました。これは、主にソフトウェアが1億24百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて4億36百万円増加し、50億26百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べ74百万円減少し、8億24百万円となりました。これは、主に未払金が56百万円、未払法人税等が21百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ6百万円減少し、1億41百万円となりました。これは、主に退職給付引当金が9百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて81百万円減少し、9億66百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前事業年度末に比べ5億17百万円増加し、40億59百万円となりました。これは、主に当期純利益の計上等により利益剰余金が4億98百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末と比較して3億2百万円増加し、40億69百万円となりました。当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、8億29百万円（前期は9億85百万円の獲得）となりました。これは、主に税引前当期純利益が9億99百万円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、3億56百万円（前期は2億18百万円の使用）となりました。これは、主に無形固定資産の取得による支出が3億35百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、1億71百万円（前期は1億55百万円の使用）となりました。これは、主に配当金の支払が1億72百万円あったこと等によるものであります。

(キャッシュ・フロー指標の推移)

	2022年3月期	2023年3月期
自己資本比率 (%)	76.8	80.1
時価ベースの自己資本比率 (%)	371.9	214.2
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	—	—

(注1) 各指標は、以下の計算式により算出しております。

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注2) 有利子負債がないため、キャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオは記載しておりません。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、政府によるペーパーレス化や脱ハンコ等のDXの推進やウィズコロナの下での経済活動を背景として、企業のDX化が加速することにより、引き続きワークフロー事業の需要が拡大することを想定しております。

このような中、パッケージソフトにおいては、X-p o i n tは、クラウドシフトを加速させることに伴い売上減を見込んでおり、A g i l e W o r k sは、X-p o i n tからのアップセルや、営業人員の増強並びに既存販売パートナーの深耕及び新規販売パートナーの開拓等による販売体制の強化を積極的に行うことにより、売上増を見込んでおります。

クラウドサービスにおいては、X-p o i n tからのクラウドシフトや、電子帳簿保存法への対応、クラウドニーズの拡大による新規顧客獲得を積極的に行うことにより、売上増を見込んでおります。

また、費用面につきましては、売上拡大やサポート体制強化に伴う人員の増加や、製品機能強化のためのソフトウェア償却費の増加、クラウドサービス拡大に伴うクラウドインフラ費用の増加等の増加はあるものの、売上高の拡大に伴う利益増が吸収し、利益は増益を想定しております。

次期の業績予想につきましては、売上高は23億90百万円(前期比10.3%増)、営業利益は11億円(同10.1%増)、経常利益は11億円(同10.0%増)、当期純利益は7億48百万円(同11.6%増)を計画しております。

また、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当事業年度 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,766,976	4,069,391
売掛金	193,713	224,271
電子記録債権	54,339	51,361
前払費用	36,906	37,557
その他	383	405
流動資産合計	4,052,320	4,382,987
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	147,662	147,662
減価償却累計額	△87,363	△100,081
建物附属設備(純額)	60,298	47,580
工具、器具及び備品	27,164	29,683
減価償却累計額	△20,064	△23,543
工具、器具及び備品(純額)	7,100	6,139
有形固定資産合計	67,399	53,720
無形固定資産		
ソフトウェア	331,341	455,411
無形固定資産合計	331,341	455,411
投資その他の資産		
繰延税金資産	86,380	72,185
その他	52,963	62,223
投資その他の資産合計	139,343	134,408
固定資産合計	538,084	643,540
資産合計	4,590,404	5,026,527

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当事業年度 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	31,284	24,837
未払金	108,540	51,764
未払費用	37,852	37,023
未払法人税等	194,134	173,046
預り金	2,314	2,577
契約負債	478,846	497,398
賞与引当金	46,837	38,350
流動負債合計	899,809	824,997
固定負債		
退職給付引当金	61,123	51,996
役員退職慰労引当金	19,735	22,235
資産除去債務	67,508	67,722
固定負債合計	148,366	141,953
負債合計	1,048,175	966,951
純資産の部		
株主資本		
資本金	621,286	621,916
資本剰余金		
資本準備金	621,286	621,916
資本剰余金合計	621,286	621,916
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	2,284,956	2,783,141
利益剰余金合計	2,284,956	2,783,141
自己株式	△298	△397
株主資本合計	3,527,229	4,026,576
新株予約権	15,000	33,000
純資産合計	3,542,229	4,059,576
負債純資産合計	4,590,404	5,026,527

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	2,113,504	2,167,211
売上原価	501,006	495,924
売上総利益	1,612,498	1,671,287
販売費及び一般管理費	704,801	672,122
営業利益	907,697	999,164
営業外収益		
受取利息及び配当金	33	37
その他	790	457
営業外収益合計	823	495
経常利益	908,521	999,660
税引前当期純利益	908,521	999,660
法人税、住民税及び事業税	309,255	315,171
法人税等調整額	△5,064	14,195
法人税等合計	304,190	329,367
当期純利益	604,330	670,293

売上原価明細書

区分	注記 番号	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)		当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	
		金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
I 労務費	※1	170,808	24.4	191,563	23.2
II 外注加工費		189,718	27.1	216,993	26.3
III 経費		339,904	48.5	417,386	50.5
当期総製造費用		700,431	100.0	825,944	100.0
他勘定振替高	※2	199,425		330,020	
売上原価		501,006		495,924	

(注) ※1 主な内訳は次のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
減価償却費 (千円)	170,019	205,347
通信費 (千円)	135,517	159,065
地代家賃 (千円)	11,340	28,247

※2 他勘定振替高の内訳は次のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
ソフトウェア (千円)	199,425	330,020

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本							新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本合計		
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計				
当期首残高	620,824	620,824	620,824	1,837,596	1,837,596	△298	3,078,945	—	3,078,945
当期変動額									
新株の発行(新株予約権の行使)	462	462	462				924		924
剰余金の配当				△156,970	△156,970		△156,970		△156,970
当期純利益				604,330	604,330		604,330		604,330
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)								15,000	15,000
当期変動額合計	462	462	462	447,359	447,359	—	448,283	15,000	463,283
当期末残高	621,286	621,286	621,286	2,284,956	2,284,956	△298	3,527,229	15,000	3,542,229

当事業年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本							新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本合計		
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計				
当期首残高	621,286	621,286	621,286	2,284,956	2,284,956	△298	3,527,229	15,000	3,542,229
当期変動額									
新株の発行(新株予約権の行使)	630	630	630				1,260		1,260
剰余金の配当				△172,107	△172,107		△172,107		△172,107
当期純利益				670,293	670,293		670,293		670,293
自己株式の取得						△99	△99		△99
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)								18,000	18,000
当期変動額合計	630	630	630	498,185	498,185	△99	499,346	18,000	517,346
当期末残高	621,916	621,916	621,916	2,783,141	2,783,141	△397	4,026,576	33,000	4,059,576

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	908,521	999,660
減価償却費	186,060	222,148
賞与引当金の増減額(△は減少)	5,826	△8,487
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△849	△9,126
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2,976	2,500
受取利息及び受取配当金	△33	△37
株式報酬費用	15,000	18,000
売上債権の増減額(△は増加)	111,893	△27,580
仕入債務の増減額(△は減少)	3,457	△6,447
契約負債の増減額(△は減少)	66,326	18,552
未払金の増減額(△は減少)	△12,665	△30,588
その他	△9,510	△12,621
小計	1,277,003	1,165,972
利息の受取額	33	37
法人税等の支払額	△291,911	△336,209
営業活動によるキャッシュ・フロー	985,125	829,800
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	—	△11,778
無形固定資産の取得による支出	△199,425	△335,020
敷金の差入による支出	△19,054	△10
ゴルフ会員権の取得による支出	—	△9,736
その他	△183	183
投資活動によるキャッシュ・フロー	△218,663	△356,360
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	—	△99
ストックオプションの行使による収入	924	1,260
配当金の支払額	△156,877	△172,185
財務活動によるキャッシュ・フロー	△155,953	△171,024
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	610,508	302,414
現金及び現金同等物の期首残高	3,156,468	3,766,976
現金及び現金同等物の期末残高	3,766,976	4,069,391

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

当社は関連会社を有していないため、該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社は、ワークフロー事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産額	471円66銭	537円79銭
1株当たり当期純利益金額	80円83銭	89円55銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	80円72銭	89円53銭

(注) 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
当期純利益金額 (千円)	604,330	670,293
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益金額 (千円)	604,330	670,293
普通株式の期中平均株式数 (株)	7,476,674	7,485,177
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
当期純利益調整額 (千円)	—	—
普通株式増加数 (株)	9,946	1,908
(うち新株予約権数 (株))	(9,946)	(1,908)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	第2回新株予約権 (新株予約権の数560個) (新株予約権の目的となる株式の数56,000株)	第2回新株予約権 (新株予約権の数438個) (新株予約権の目的となる株式の数43,800株)

(重要な後発事象)

該当事項はありません。